

災害時、 外国人を情報弱者にしないために！ ～私たちができることを考えよう～

多文化共生の視点に立って、災害時の外国人支援を学ぶセミナーです。

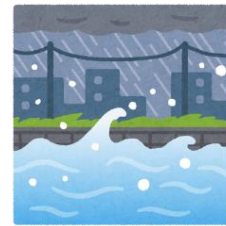
講演

栃木県には、35,000人以上の外国人がいます。地震や水害などの災害が起きたとき、外国人の中には、母国での災害との違いからどのように行動すればよいかわからない人、避難所のことや行政サービスを十分に理解していない人もいます。また言葉や文化の違いによる課題も考えられます。これらに対し、私たちができることは何か、これまでの事例を踏まえ、押さえておきたいポイントを紹介します。



グループワーク

災害に関する「情報」を外国語や「やさしい日本語」に翻訳する体験を通して、外国人にわかりやすく伝えるためにどうすればいいか、また、どのような配慮が必要か一緒に考えます。



参加費
無料



講師 柴垣 禎 氏 (NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会理事、富山県職員)

2007年の新潟中越沖地震時に外国人支援の活動に従事した経験から、(一財)自治体国際化協会の「災害多言語支援センター設置運営マニュアル」等の作成に携わる。東日本大震災や昨年の熊本地震等で、災害多言語支援センターの情報発信や支援関係者らのコーディネートに携わる。災害時支援の豊富な経験から、全国各地で災害時の外国人支援の人材育成に努めている。

平成29年 **9月22日** (金)

13時30分～16時30分

とちぎ国際交流センター(宇都宮市本町9-14)

- 対象：・災害支援・福祉関係職員
・国際交流関係団体の方
・災害時の外国人支援に関心のある方など

定員：30名程度



お申込み&お問合せ

公益財団法人栃木県国際交流協会

TEL **028-621-0777**

業務時間 火曜～土曜 8:30～17:15

※県庁前バス停から徒歩5分／東武宇都宮駅から徒歩8分
※駐車場には限りがありますので、公共交通機関のご利用
にご協力ください。